

第7回瑞穂町地域公共交通会議

1. 開催概要

日時：令和4年3月22日（火）15：30～16：00

会場：瑞穂町役場庁舎1階ホール（オンライン併用）

委員：

No	所属	役職	委員氏名	出席状況
1	瑞穂町	副町長	栗原 裕之 ★	出席
2	日本大学 理工学部 土木工学科	教授	大沢 昌玄 ☆	出席(Web)
3	瑞穂町寿クラブ連合会	会長	中村 憲一	出席
4	瑞穂町福祉作業所さくら	課長	戸村 仁郎	出席
5	公募（町内在住）		小暮 彰	出席(Web)
6	公募（町内在住）		徳永 道子	欠席
7	立川バス株式会社	運輸計画部計画課長	佐藤 祐浩	出席
8	西武バス株式会社	計画部計画課長	秦野 凌	出席
9	東京都交通局	自動車部計画課長	島崎 健一	出席(Web)
10	横川観光株式会社	代表取締役社長	山口 和彦	欠席
11	武州交通興業株式会社	事業部部長	濱田 興紀	欠席
12	一般社団法人東京バス協会	乗合業務部長	米澤 暁裕	欠席
13	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局	首席運輸企画専門官	小泉 伸介 代理：藤本 義章	出席(Web)
14	立川バス労働組合	執行委員長	土岐 雅人	出席(Web)
15	国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所	計画課長	山田 寛雄 代理：富澤 敦	出席(Web)
16	東京都 西多摩建設事務所	管理課長	高橋 一広	出席
17	福生警察署	交通課長	小崎 和人	出席

★：会長 ☆：副会長

傍聴人：10人

次 第

1 開会

2 委員委嘱及び委員交代報告

3 議事

(1) 瑞穂町コミュニティバスに関する経過報告について

(2) その他

4 閉会

2. 議事録

(1)瑞穂町コミュニティバスに関する経過報告について

【委員】

資料 P11 に周知活動として、病院等の利用促進等活動で具体的に考えられるのが、元狭山にあった高沢病院が5月に箱根ヶ崎駅の西口の方に移転すると聞いている。現時点でのコースでは病院への乗り入れはないと思うが、今後どのように考えているか。

【事務局】

箱根ヶ崎西口から約500mのところに移転され、病院の事務長からもコミュニティバスの乗り入れについてはご意見をいただいている。ただし、道路の幅員の関係で運行が難しく、敷地内のスペースの確保も難しい状況である。八高線の踏切箇所について、東京都の都市計画道路の整備も進めていることから、今後検討していきたいと考えている。

病院側でも利用者からもご意見をいただいております。高沢病院周辺のスーパーから外来診療向けの送迎を想定しているとのことである。院内のチラシ掲載による周知を行うという話を聞いている。

コミュニティバスについては具体化が難しい状況である。

【委員】

検討課題として、ルートやバス停は検討していただければと思う。

【副会長】

実証実験の運行が始まってしばらく経過し、利用状況が芳しくないルートも見られる。利用状況があまりよくないルートに対して何か改善策をとるのか、基準を定めて本格運行にするのか、又は廃止にするのか、決めなければいけないと思う。今回は運行開始後すぐの会議のため状況の共有ということですが、今後は見直し、本格運行に向けた基準に対する議論をしなければいけないと考えている。

【事務局】

利用状況が芳しくないというのは、武蔵野コースに対する指摘という認識である。実績として1日約0人という少ないということは今後検討していかなければいけないと考えている。コロナ禍により、他市においても3~4割減という状況であり、また立川バスの増便によって、武蔵野地域は利用をどう改善できるのかなど、地域のご意見を聴取し、前向きに改善していきたいと考えている。

【副会長】

2年間は長いようで短いため、途中の見直しで時間を有してしまうため、地元ニーズを聞きながら、進めていただくと同時に、本格運行に移行するか、廃止にするかの基準の設定を検討していただければと思う。

(2)その他

【委員】

現在、スカイホールでイベントを実施する際に、移動手段がないため、電話で利用できるデマンド交通のようなものの対応をお願いしたい。

【会長】

デマンド交通については、イベントに対する送迎のための交通なのか、日常的に利用する交通なのかどちらを想定しているか。利用目的によって変わってくる。これまで空白エリア平等に救うことを目的に2年間を実証実験期間とも受けてコミュニティバスを運行してきている。公共交通として、

【委員】

石畑・殿ヶ谷地域の方々には、イベントに参加したくとも、交通手段がなく利用できないという声があがっている。交通会議のなかでも合わせて検討していただきたい。

【会長】

高齢者の移動支援という福祉施策との兼ね合いもある。デマンド交通についても有償運行の中で検討する。現在のコミバスの社会実験を実施している中で系統を増やすというのは難しく、これまでの会議の中でも複数の手法を並行して運行するのは難しいという協議させていただいている。今後、見直しの際に検討できればと思う。